

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 22日

三重県知事 殿

提出者

住所 三重県員弁郡東員町大字中上2400

氏名 TOYO TIRE株式会社 桑名工場

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0594-86-0100

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量
その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	TOYO TIRE株式会社 桑名工場
事業場の所在地	三重県員弁郡東員町大字中上2400
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E19 製造業/ ゴム製品製造業
② 事業の規模	66,411百万円
③ 従業員数	1,765人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・汚泥→処分業者へ委託して混練造粒の中間処理後、セメント会社へ原料として再利用 →処分業者へ委託して脱水の中間処理後、肥料として再利用・廃油→処分業者へ委託して混練の中間処理後、セメント会社へ燃料として再利用 →処分業者へ委託して焼却(熱回収)の中間処理後、残渣を埋立 →処分業者へ委託して濃縮・混練の中間処理後、セメント会社へ燃料として再利用 →処分業者へ委託して油水分離後製品燃料化・廃酸→処分業者へ委託して中和の中間処理後、セメント会社へ燃料として再利用 →処分業者へ委託して焼却(熱回収)の中間処理・廃アルカリ→処分業者へ委託して中和の中間処理後、セメント会社へ燃料として再利用・廃プラスチック類→処分業者へ委託して破碎の中間処理後、製紙会社等へ燃料として再利用 →処分業者へ委託して破碎、焼却(熱回収)、焼成の中間処理後、路盤改良材として再利用 →処分業者へ委託して圧縮、焼却後、残差はセメントとして再利用 →処分業者へ委託して焼却(熱回収)の中間処理後、残渣を埋立 →処分業者へ委託して焼却・焼成(セメントの燃原料となる)・金属くず→処分業者へ委託して圧縮の中間処理後、製鉄会社へ鉄スクラップとして再利用・ガラスくず等→処分業者へ委託して破碎選別の中間処理後、主にガラスの原料として再利用・木くず→処分業者へ委託して破碎の中間処理後、木チップとして再利用

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- 工場長(総括責任者): 廃棄物処理契約に係る各種事項の決定及び承認。
- 総務部長(管理責任者): 処理業者の選定・契約締結に当たっての確認、
監督官庁への各種報告書の確認
- 環境安全課(事務局): 処理業者の選定、契約締結、監督官庁への各種報告、委託先視察、
マニフェスト最終確認、廃棄物保管場所の管理。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	排出量	
	(これまでに実施した取組)	
・スクラップ低減活動による廃棄物発生量の抑制 ・産業廃棄物の有価物化 ・フリーショットゴムの量の適正化		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	排出量	
	(今後実施する予定の取組)	
・スクラップ低減活動による廃棄物発生量の抑制の継続 ・産業廃棄物の有価物化		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄物置き場を定期的に巡回し、 産業廃棄物20種類通りの分別が出来ているかを確認
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物の分別(鉄くずを極力分別する)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 実施していない	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	
(これまでに実施した取組) 化成汚泥の脱水処理		
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	
(今後実施する予定の取組) 化成汚泥の脱水処理継続		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	
	(これまでに実施した取組) 実施していない	
②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	
	(今後実施する予定の取組) 実施予定なし	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【 前年度実績 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「前年度実績」欄に記載してください。
	再生利用業者への処理委託量	
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	(これまでに実施した取組)	
・発生量や運搬頻度が多い品目を優先に処理先の複線化をしていく ・再生施設認定業者・優良認定業者への変更を推進 ・焼却処理の委託は熱回収可能な業者を選定する ・直接埋立を無くす		

②計画	【 目標 】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	
	優良認定処理業者への処理委託量	
	再生利用業者への処理委託量	この欄へは記入せず、別紙1の「今年度目標」欄に記載してください。
	認定熱回収業者への処理委託量	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
(今後実施する予定の取組)		
・新規処理先は再生施設認定業者・優良認定業者を優先していく ・発生量や運搬頻度が多い品目を優先に処理先の複線化をしていく		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行なうことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行なっている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。
- 7 欄及び※欄は記入しないこと。

} 記入願います

 記入不要です

項目		廃棄物の種類																				合計量 (t)		
		ア 燃え殻	イ 汚泥	ウ 廃油	エ 廃酸	オ 廃アルカリ	カ 廃プラスチック	キ ゴムくず	ク 金属くず	ケ ガラス・コンクリート・陶磁器くず	コ 鋳さい	サ がれき類	シ ばいじん	ス 紙くず	セ 木くず	ソ 繊維くず	タ 動植物性残さ	チ 家畜のふん尿	ツ 家畜の死体	テ 動物系固形不要物	ト 13号廃棄物		ナ 建設混合廃棄物	
現状/計画																								
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	排出量 ①	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	2891	161	2	100	3983	0	480	2	0	0	0	0	95	0	0	0	0	0	0	0	7714
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 ②+⑧	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 ⑤	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 ⑦	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	2103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2103
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分又は海洋投入処分に 関する事項	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 ③+⑨	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	全処理委託量 ⑩	前年度実績																					0	
		今年度目標	0	788	161	2	100	3983	0	480	2	0	0	0	95	0	0	0	0	0	0	0	0	5611
	⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量 ⑪	前年度実績																						0
		今年度目標	0	780	81	2	0	1471	0	287	1	0	0	0	95	0	0	0	0	0	0	0	0	2717
	⑩のうち再生利用業者への処理委託量 ⑫	前年度実績																						0
		今年度目標	0	788	98	2	100	3142	0	480	1	0	0	0	95	0	0	0	0	0	0	0	0	4706
	⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量 ⑬	前年度実績																						0
		今年度目標	0	0	0	0	0	635	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	635
⑩のうち認定熱回収業以外の熱回収を行う業者への処理委託量 ⑭	前年度実績																						0	
	今年度目標	0	0	63	0	0	206	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	269	

(注) 産業廃棄物処理計画実施状況報告書(様式第二号の九)を提出する事業者は、本シートの前年度実績欄への記入は不要です。

(参考) 各項目の白抜き番号は、様式第二号の9 別紙2の項目番号です。